

★4～5キロ級の良型主体



★メダイの強烈な引きと上品な食味を求めて当地に通うファンも多い

南伊豆下田須崎港出船

写真・訓覇啓雄

好調!! 神子元島周りのメダイ



◀常連客の水野さんが5.6キロを筆頭に11尾でトップ



▲▼釣りは神子元島周りの150メートルダチ。この海域のメダイは型がいいことで知られ7～8キロ級も上がる



交じるサバが最高の特エサ



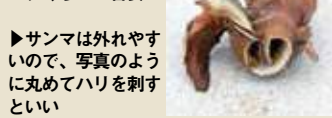
▲新鮮なサバの切り身は海中で皮目が輝きメダイにアピールする。まな板は船で借りられるが、釣れたサバをさばくナイフは必携



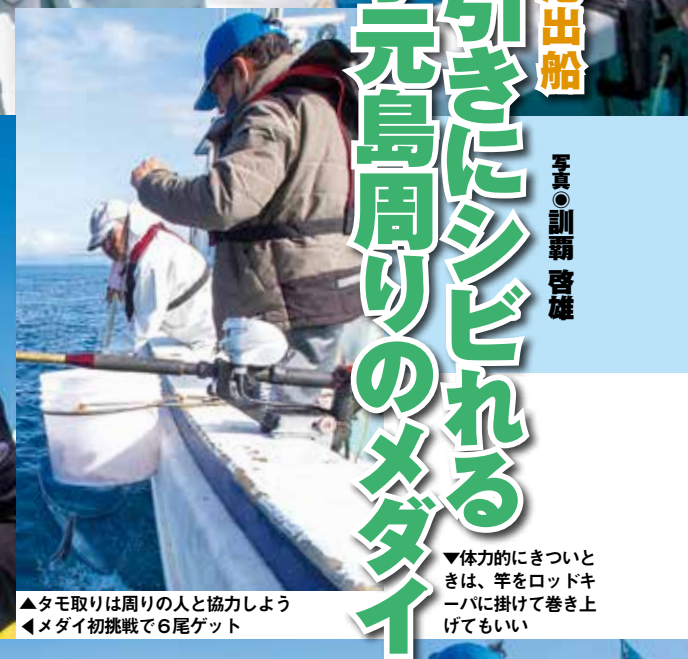
▲切り方は様々だが、長さは15～20センチくらいが目安



▶サバの切り身は端の中央にハリを刺す



▶サンマは外れやすいので、写真のように丸めてハリを刺すといい



▲タモ取りは周りの人と協力しよう
◀メダイ初挑戦で6尾ゲット

▼体力的にきついときは、竿をロッドキープに掛けて巻き上げてもいい



◎1～2キロ級のハチビキも交じた

きに対応する丈夫な青物用ワンピースロッドと中型電動リールのセットがおすすだ。
(詳細は56ページ参照)

南伊豆エリアのメダイが好調だ。下田須崎港の稲荷丸を取材した4月下旬も、神子元島周りの水深150メートル付近にて海面から120メートルのタナを狙い、3.7～5.6キロがトップ11尾と上々の釣果を得た。釣り方はオキアミのコマセ釣りで、付けエサはサンマの切り身。指示ダナから50センチ幅で10～20メートルほど誘い上げるとメダイが食い付き、竿先がギューンと絞り込まれる。扁平な魚体と発達した尾ヒレが生み出すパワーは強烈。タックルはメダイのパワフルな引



●南伊豆下田須崎港・稲荷丸 森一徳船長